

Full Speed

月刊SNSレポート 2021年11月号

Monthly **SNS** Report Vol.028



トピック

03 Facebook

04 Twitter

05 Instagram

06 LINE

07 ソーシャルマーケティング事業部
Twitterアカウントのご紹介

【Facebook】 Facebookでのヘイトスピーチの蔓延が約50%減少

トピックス

Facebookでのヘイトスピーチの蔓延が過去9ヶ月で約50%減少しました。Facebook社はプラットフォーム上で実際に目にするヘイトスピーチの量を減らすことに焦点を当て活動してきました。それはコンテンツを削除することに注力するだけでなく、確かに悪意のある表現であると確かめることや、テクノロジーの開発を行うことによって実現されています。

ヘイトスピーチの蔓延が約50%減少



出典：<https://about.fb.com/news/2021/10/hate-speech-prevalence-dropped-facebook/>

Facebook社は、プラットフォーム上で実際に目にするヘイトスピーチの量を減らすことに焦点を当て活動してきました。最新の報告によると、ヘイトスピーチの蔓延が0.05%、つまり10,000回あたり5回視聴回数が減少したと報告されており、これは過去9ヶ月で約50%減少していることとなります。

ヘイトスピーチの量を減らすにあたって、コンテンツの削除だけに注力することは不十分であり、悪意のある表現を「確かに」悪意のあるものだと確かめることが重要であるとFacebook社は考えています。例えば、悪意のある表現である可能性があるものの削除の基準を満たさない場合はコンテンツの配信を減少し、ポリシーに違反する可能性のあるコンテンツを定期的に投稿するグループ、ページ、ユーザーは推奨しないに留めます。これは、悪意のある表現のように見えるがそうではないコンテンツを誤って削除しないようにするためです。また、2016年、コンテンツの削除の大部分はユーザーからの報告に基づいて行われていましたが、より精度を高めるためにテクノロジーの開発を行いました。このようにして、より確かなヘイトスピーチに対する対応ができるようになっていったと言えます。

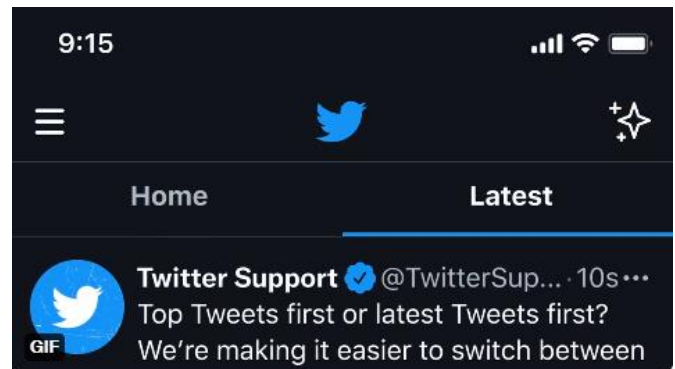
企業が投稿を行うにあたっては、悪意のある表現である、またその可能性がある判断されないことがリーチを伸ばすために必要であると言えます。ただ、プラットフォームの透明性が高められることで、Facebookのユーザーが増加し、情報がより届きやすくなる可能性も感じます。

【Twitter】 タイムラインの並びをスワイプで切り替えられる機能をテスト中

トピックス

Twitter社は、10月13日、iOSを利用する一部ユーザーにて、おすすめのツイートが優先して表示される「ホームタイムライン」と最新ツイートが時系列で表示される「最新タイムライン」をスワイプで切り替えられるテストを行っていることを発表しました。現在既にその2つのタイムラインは実装されていますが、スワイプでは切り替えることができません。

「🌟」アイコンからスワイプでタイムラインが切り替えられるように



出典：<https://twitter.com/TwitterJP/status/1448064188568326145>

Twitterは右上の「🌟」をタップすると、「ホームタイムライン」と「最新タイムライン」をスワイプで簡単に切り替えられ、どちらのタイムラインをスクロールしているのかがわかる機能を、iOSを利用する一部ユーザーにてテストしていることを発表しました。

現在Twitterのタイムラインは、おすすめのツイートが優先して表示される「ホームタイムライン」と最新ツイートが時系列で表示される「最新タイムライン」が、アプリの右上の「🌟」アイコンから切り替えられるようになっていました。新機能では、「最新タイムライン」を選択した場合に限り、右図のようにホームと最新ツイートのタブが表示され、スワイプで切り替えられるようになります。

※ホームを選択した場合は最新ツイートのタブは表示されません。

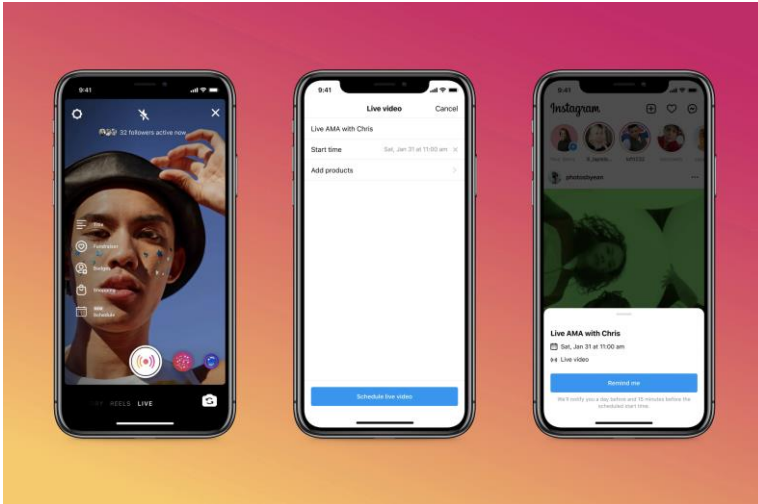
スワイプで切り替えられるのは非常な便利な機能ですが、「最新タイムライン」を好んで使用していたユーザーにとっては、ひとつタブが多く表示されることとなります。Twitter上では、「最新タイムライン」をデフォルトにしてほしいという声も見られるため、今後Twitter社がどのような判断をするかが注目するポイントとなりそうです。

【Instagram】ライブ配信のスケジュールを事前設定・告知できる機能を導入

トピックス

Instagramのライブ配信にて、スケジュールを事前設定・告知できる新機能が導入されることが発表されました。この新機能では、配信者は最大90日前からユーザーにライブ配信の告知を行うことができ、配信者、ユーザーともに、24時間前・15分前・開始時間（配信者は直前）の計3回、リマインダーとして通知されることが可能となります。

ライブ配信のスケジュールを事前設定・告知することが可能に



出典：https://about.fb.com/ja/news/2021/10/instagram_live_scheduling/

企業でもよく活用されているライブ配信機能。こちらにおいて、スケジュールをあらかじめ設定し、フィード投稿にて告知できる新機能が日本を含む全世界で導入されることが発表されました。この機能を使用すると、配信者は開催予定のライブ配信の日時を最大90日前からユーザーに告知することができます。また、ユーザーはそのライブ配信のリマインダーを設定することができ、予定日時の24時間前・15分前・開始時間の計3回通知を受け取ることができるため、忘れずに視聴することができます。

▼ライブ配信のスケジュールを設定する方法

- ①カメラを開き、「ライブ」を選択すると「日時指定」という新しいオプションが表示
 - ②「日時を指定」をタップし、動画のタイトル、開始日時を設定
 - ③「投稿としてシェア」をタップし、告知用のフィード投稿で使用する画像や動画、キャプションを入力し、フィード投稿にシェア
 - ④配信日時になったら、通常通りカメラを開いてライブ配信を開始、もしくはリマインダーをタップ
- ※配信者にも24時間前・15分前・直前の3回リマインダーとして通知されます。

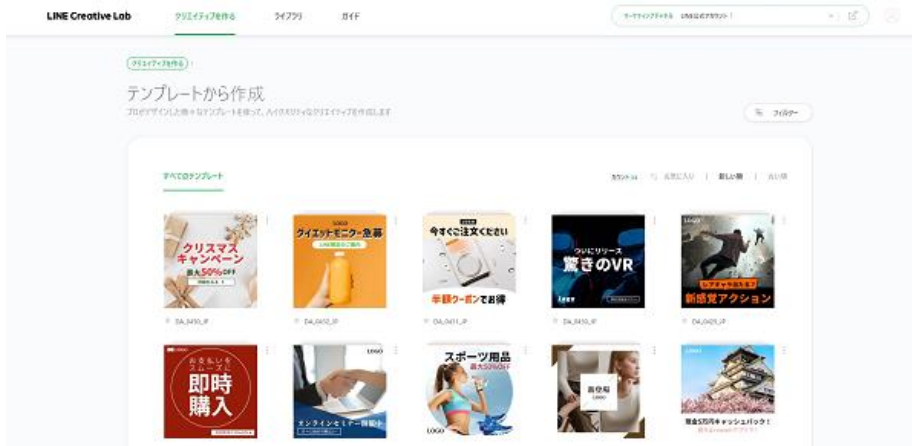
この機能によって、よりライブ配信の視聴率が上がることが考えられます。この機会に、ライブ配信での訴求を検討してみたいはいかがでしょうか。

【LINE】「友だち追加広告」にて「LINE Creative Lab」が利用可能に

トピックス

アカウントの友だちを増やすための広告である「友だち追加広告」。こちらにて、オリジナルのクリエイティブを作成できる「LINE Creative Lab」が利用できるようになりました。「LINE Creative Lab」では、テンプレートから簡単にクリエイティブを作成できるかつ、すぐにLINE広告にクリエイティブを送信することができます。

広告クリエイティブをテンプレートから作成できるように



出典：<https://manager.line.biz/announce/20176749?country=JP>

LINE上での「友だち追加広告」で「LINE Creative Lab」が利用できるようになったとのこと。

「LINE Creative Lab」とは、オリジナルのクリエイティブを作成できるツールであり、テンプレートを使用して作成することができるため、簡単に高品質なクリエイティブが作成できます。

▼利用方法

- ①LINE Creative Labにログイン後、クリエイティブを配信するアカウントを選択
- ②「クイック作成」「テンプレートを使用」「白紙から作成」から作成モードを選択
※画像や動画（スライドショー）のクリエイティブを作成できます。
- ③「テンプレートを使用」を選択した場合は、利用したいテンプレートを選択
※国や業種などの条件で、テンプレートを絞り込むことも可能です。
- ④クリエイティブを編集し、LINE広告に送信
- ⑤作成したクリエイティブを使って広告キャンペーンを実施

「友だち追加広告」を配信している、もしくは配信を検討している企業様でクリエイティブにお悩みの方は、こうした機能を活用してみてはいかがでしょうか。

ソーシャルマーケティング事業部 Twitterアカウントのご紹介

大和田雄大(Yudai Ohwada)
| SNSマーケ



SNS広告や運用事例まとめ
アカウント☺



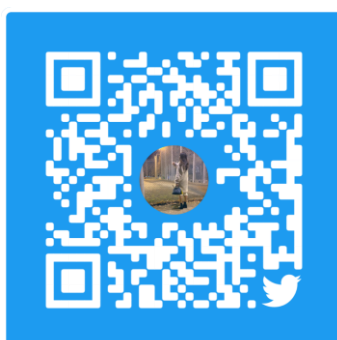
オナシ丸 | FS部屋所属



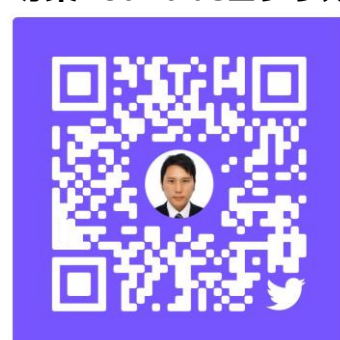
芦田央 SNSコンサル



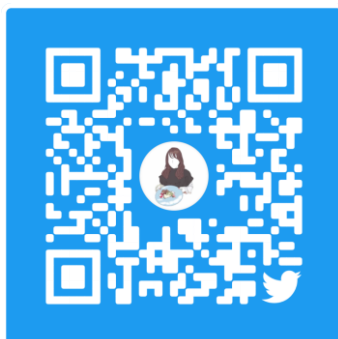
ござかいさん | FS



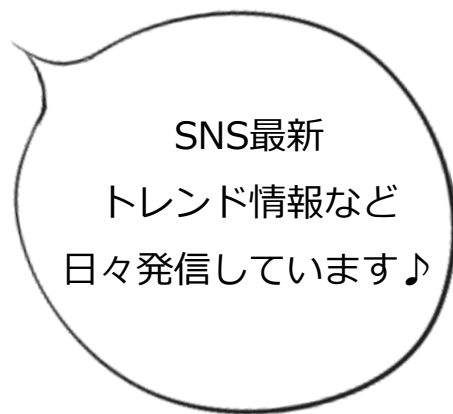
根本 碧
| 専門YouTubeコンサル



はやび SNSマーケ



まうす@企業アカの中の人



月刊SNSレポート 2021年11月号
Monthly SNS Report Vol.028

ご不明点などございましたら…

ソーシャルマーケティング事業部まで！

【Mail】 s-consul@fullspeed.co.jp



Full Speed

Ad Technology & Marketing Company

Full Speed

“ココロ ∞ テクノロジー”